



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 日本製粉株式会社
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 近藤 雅之
 (氏名) 津田 尚之
 TEL 03-3511-5307

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	85,544	2.6	2,486	1.6	3,259	2.6	2,491	8.5
2019年3月期第1四半期	83,387	3.9	2,527	24.7	3,348	17.8	2,295	29.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,297百万円 (56.3%) 2019年3月期第1四半期 2,966百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	32.53	28.38
2019年3月期第1四半期	28.80	27.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	284,390	154,534	52.7
2019年3月期	293,392	154,986	51.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 149,778百万円 2019年3月期 150,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		17.00	32.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	175,000	4.4	5,500	2.9	6,400	0.3	4,300	6.7	56.17
通期	350,000	4.4	12,000	6.9	13,500	3.3	9,000	6.4	117.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	78,824,009 株	2019年3月期	78,824,009 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,157,088 株	2019年3月期	2,226,385 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	76,582,988 株	2019年3月期1Q	79,721,362 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	83,387	85,544	2,156	102.6%
営業利益	2,527	2,486	△40	98.4%
経常利益	3,348	3,259	△88	97.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,295	2,491	195	108.5%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、過熱する米中貿易摩擦により世界経済の減速懸念が高まっていることに加え、本年10月に予定されている消費増税が消費者の購買行動に与える影響も危惧されており、先行きは依然として不透明な状況が続くと考えられています。

食品業界においても、消費者の節約志向を背景に価格競争が激化する一方で、労働力不足による人件費の上昇に加え、TPP11や日欧EPAの発効による影響も予想されるなど、事業環境は厳しさを増しております。

こうした状況の下、当社グループは、絶えず変化を続ける事業環境に対処するため、販売の拡大とコスト削減を軸とした事業基盤強化に取り組み、さらに今後成長が見込まれる分野への積極的な投資や生産拠点の再構築を進め、持続的成長を目指し邁進しております。

また、かねてより三菱地所株式会社と開発計画を進め、2017年6月に着工しておりました、「新宿南口プロジェクト(千駄ヶ谷五丁目北地区第一種市街地再開発事業)」につきましては、本年8月に竣工を予定しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は855億4千4百万円(前年同期比102.6%)、営業利益は24億8千6百万円(同98.4%)、経常利益は32億5千9百万円(同97.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億9千1百万円(同108.5%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	25,126	25,770	643	102.6%
営業利益	1,397	1,317	△79	94.3%

当社グループは、食の安全・安心志向の高まりを受けて、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズや食の多様化に対応した課題解決型営業の推進に注力しております。さらに、各種展示会への出展、経営セミナーをはじめとする全国各地の講演会、講習会の開催など、活発な営業活動を展開しました。その結果、小麦粉および副製品のふすまの売上高は前年同期を上回りました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均(税込価格)で1.7%引き下げられたことに伴い、本年7月10日出荷分より業務用小麦粉の販売価格を改定しております。

以上により、製粉事業の売上高は257億7千万円(前年同期比102.6%)、営業利益は13億1千7百万円(同94.3%)となりました。

②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	48,967	50,926	1,959	104.0%
営業利益	1,091	1,022	△68	93.7%

業務用食品では、各種展示会への出展やイタリア料理技術講習会の開催など、積極的なマーケティング活動を展開したことにより、業務用プレミックスの販売が国内外ともに好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用食品では、店頭の商品提案等を積極的に推進し、基幹商品の拡売を図りました。また、プレミアム・パスタブランド「REGALO(レガロ)」について「REGALO贈りものキャンペーン」を展開しております。これらの結果、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類では、主食と主菜が一度に食べられ、朝食、昼食、夕食等のあらゆる食シーンに対応するラインアップで展開している「よくばり」シリーズが好調に推移しました。また、「オーマイプレミアム」シリーズ、「オーマイ 具の衝撃」シリーズについて「プレミアムなおこづかいプレゼントキャンペーン」を展開しており、幅広い層への冷凍パスタの拡売に努めました。これらの結果、売上高は前年並みで推移しました。

中食事業では、愛知県知多市の新工場が稼働したことにより販売が拡大した一方で、天候不順の影響を受けた結果、売上高は前年並みで推移しました。

以上により、食品事業の売上高は509億2千6百万円(前年同期比104.0%)、営業利益は10億2千2百万円(同93.7%)となりました。

③その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	9,294	8,847	△446	95.2%
営業利益	37	138	101	369.6%

エンジニアリング事業は、大口工事の引き合いが落ち着いたことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

ヘルスケア事業は、機能性素材のセラミドが好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は88億4千7百万円(前年同期比95.2%)、営業利益は1億3千8百万円(同369.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年6月期	増減額
流動資産	118,330	112,581	△5,749
固定資産	174,988	171,738	△3,249
繰延資産	73	70	△3
資産 合計	293,392	284,390	△9,001
流動負債	76,100	73,864	△2,236
固定負債	62,305	55,992	△6,312
負債 合計	138,405	129,856	△8,549
純資産	154,986	154,534	△452
負債・純資産 合計	293,392	284,390	△9,001

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ90億1百万円減少し、2,843億9千万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が32億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が21億6千万円、受取手形及び売掛金が21億3千5百万円、現金及び預金が13億6千8百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ85億4千9百万円減少し、1,298億5千6百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が51億6千万円、未払法人税等が15億3千1百万円、長期借入金が9億4千7百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億5千2百万円減少し、1,545億3千4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が6億3百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が13億5千万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,958	31,589
受取手形及び売掛金	47,410	45,275
商品及び製品	15,508	15,676
仕掛品	32	75
原材料及び貯蔵品	19,230	17,069
その他	3,348	3,067
貸倒引当金	△159	△172
流動資産合計	118,330	112,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,159	37,829
機械装置及び運搬具(純額)	20,511	20,666
土地	40,032	40,039
建設仮勘定	1,719	1,887
その他(純額)	1,809	1,794
有形固定資産合計	101,233	102,217
無形固定資産		
のれん	622	594
その他	753	908
無形固定資産合計	1,376	1,503
投資その他の資産		
投資有価証券	65,472	62,178
その他	7,525	6,457
貸倒引当金	△620	△617
投資その他の資産合計	72,377	68,017
固定資産合計	174,988	171,738
繰延資産	73	70
資産合計	293,392	284,390

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,564	29,404
短期借入金	19,201	21,308
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	2,084	552
賞与引当金	615	514
その他	19,634	17,083
流動負債合計	76,100	73,864
固定負債		
社債	5,000	—
転換社債型新株予約権付社債	25,110	25,105
長期借入金	12,041	11,093
退職給付に係る負債	4,494	4,224
役員退職慰労引当金	819	801
その他	14,840	14,766
固定負債合計	62,305	55,992
負債合計	138,405	129,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	11,262	11,262
利益剰余金	103,682	104,285
自己株式	△3,536	△3,422
株主資本合計	123,648	124,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,424	25,073
繰延ヘッジ損益	△2	△19
為替換算調整勘定	572	839
退職給付に係る調整累計額	△495	△482
その他の包括利益累計額合計	26,498	25,412
新株予約権	287	203
非支配株主持分	4,552	4,552
純資産合計	154,986	154,534
負債純資産合計	293,392	284,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	83,387	85,544
売上原価	60,450	61,977
売上総利益	22,936	23,567
販売費及び一般管理費	20,409	21,080
営業利益	2,527	2,486
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	662	693
その他	249	203
営業外収益合計	927	909
営業外費用		
支払利息	59	53
その他	47	82
営業外費用合計	106	136
経常利益	3,348	3,259
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	0	504
特別利益合計	0	506
特別損失		
固定資産除売却損	21	38
投資有価証券評価損	1	42
建物解体費用	—	37
その他	4	—
特別損失合計	27	118
税金等調整前四半期純利益	3,321	3,647
法人税、住民税及び事業税	503	544
法人税等調整額	486	590
法人税等合計	990	1,135
四半期純利益	2,331	2,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,295	2,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,331	2,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	772	△1,358
繰延ヘッジ損益	25	△16
為替換算調整勘定	△220	142
退職給付に係る調整額	59	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	4
その他の包括利益合計	634	△1,215
四半期包括利益	2,966	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,928	1,281
非支配株主に係る四半期包括利益	37	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,126	48,967	74,093	9,294	83,387	—	83,387
セグメント間の内部売上 高又は振替高	451	177	629	573	1,202	△1,202	—
計	25,577	49,144	74,722	9,867	84,590	△1,202	83,387
セグメント利益	1,397	1,091	2,488	37	2,526	1	2,527

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,770	50,926	76,696	8,847	85,544	—	85,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	431	199	631	554	1,185	△1,185	—
計	26,201	51,126	77,328	9,402	86,730	△1,185	85,544
セグメント利益	1,317	1,022	2,340	138	2,478	8	2,486

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。